

## Town News TENPAKU

## 自然環境の大切さを実感 親子で天白川の生き物さがし



タモやバケツを手に生き物観察をする参加者ら

ら川に入る注意を聞いた後、子どもたちはタモやアミ、バケツを持って川の浅瀬へ入り、魚を観察したり捕まえていました。

また、ゴムボートに乗り、流れ体験も実施。昨年にも参加したという小川真依さん（植田南小6）は「川の水が冷たくて気持ちいい。赤い金魚を見つけてびっくりした」と歓声を上げていました。

住民に親しまれる川つくりを考える「天白・川辺の楽校」が天白区役所

流左岸で開催され、親子50組、約150人が参加しました。

まちづくり推進室とものフォーラム、市南東部公害対策の共催で「天白川の生き物をさがしてみよう」が5日、天白小橋下

最初に、上川幸延天白区長が「天白川の生き物を探検して、自然環境の大切さを感じ、天白を大切にしたい」と話して

最後に、参加者全員で川の清掃作業を行い、事務局長の村瀬劭さんが「今年の水量が少なく心配です。川の自然を守り、次世代にバトンタッチできれば」と話していました。

「」が好きになってください。スタッフが